情報
プレゼンテーション

小学校中学年以上
総合　国語

伝える極意　15分

わかりやすいプレゼン ～プレゼンテーション～

（2009年放送）

この番組の良さ

上手にプレゼンを行うには？

世田谷区芦花小学校の5年生は環境問題について学習したことをまとめ、発表することになりました。パソコンでスライドを作り準備を進めますが、徐々に子どもたちは人前で話すのが不安になっていきます。

番組ではプレゼンテーションに焦点を当て、どのようにすればうまく相手に伝わる発表ができるのかを考え、学ぶことができます。

専門家のアドバイスをもとに

メディア教育開発センター教授の中川一史さん（現放送大学教授）は、練習の様子を録画した映像から見直しを行わせ、発表のアドバイスを行います。番組を通して、話し方やスライドの見せ方など、プレゼンのポイントをつかむことができます。

また、発表に向けた練習の仕方や情報伝達の過程についても学ぶこともできます。

番組活用のポイント

プレゼンテーションのコツを学べる

どの学校においても、またどの発達段階においても、調べてまとめて伝えるという、情報発信の過程を取り入れた授業が展開されています。このような過程や、メディアを活用して発信することは、今後ますます重要になるスキルだと言えます。

しかし、子どもたちの発表やプレゼンテーションははたしてうまくいっているでしょうか。過程をなぞることに終始し、原稿の棒読みや、パソコンでスライドを作ることで満足していないでしょうか。

この番組を、発表を行う事前学習や、自分たちの発表をふりかえる際に生かすことをお勧めします。番組の視聴の前後に、普段の自分たちの発表や練習などの準備の様子を想起させ、課題意識を持たせて視聴させてください。

本番組では発表会に向けたプレゼンテーションの練習を通して、パソコンを代表とするメディアの特性を生かした発表の仕方や、相手に伝わるプレゼンテーションをするための極意を学ぶことができます。また、調べ学習の過程や、学習のまとめの視聴としても活用することができます。

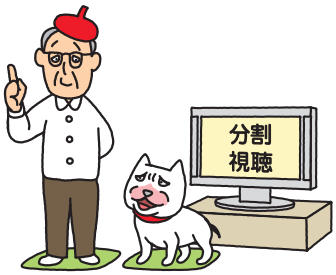
目的意識や相手意識を明確にして

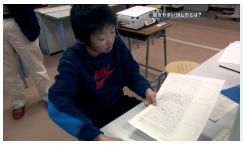
番組では、中川流プレゼンの極意として ①強調したり間をあけることばを意識して話す ②資料に注目を集める ③文は短く声に出して確かめる ④？と！を使って話す という4つの視点を示しています。話し方や見せ方といったスキル的な面から、原稿の見直しや相手意識を持った話し方にまでふれていきます。プレゼンテーションでは、目的意識や相手意識が、その出来栄えにも関わります。スキルはもちろん大切ですが、単に発表することだけでなく、何のために、誰にどんな内容を伝えるのかを改めて考えるきっかけとなるでしょう。

（甲斐 崇）

学習展開例　授業時間 45分

相手に伝わる プレゼンテーションとは？



時間配分	学習活動（小学校）	教師の支援
7分	①これまで調べたことを発表する時に、うまくいかなかった体験を話し合う。	○これまでの総合的な学習の時間での発表体験や、他の教科領域での普段の授業で、どのような発表をしているかをふり返らせたい。 ○うまくいった体験も含めて、なぜうまくいったのか、うまくいかなかったのかを考えさせることで番組の内容に結びつけたい。
15分	②番組を途中まで視聴し、プレゼンのコツをまとめる。 視聴 TV ・録画した練習の様子を恥ずかしそうに見る場面（開始〜3分17秒）  ・聞きやすい話し方について考える本橋くん（3分18秒〜7分5秒） ・子どもたちにアドバイスを行う中川一史さん（7分6秒〜13分2秒）	○必要に応じてメモをとらせる。 ○開始から13分2秒で一時停止する。 ○「中川流伝える極意」が登場する際は、一時停止し、全体で確認を行う。（全部で4つ） ○芦花小学校の発表が、誰に何のために行われるのかを考えさせながら視聴させる。
3分	③番組の続きを視聴する。 ・本番で自信を持って発表を行う本橋くん（13分3秒〜終わり）	○13分3秒から最後まで視聴する。 ○必要に応じてメモをとらせる。 ○練習を重ねてきた芦花小学校5年生の発表の様子や、4年生の聞いている様子に注目させる。
10分	④本橋くんたちの本番の発表を見て、気がついたことを話し合う。	○本番の4年生への発表を視聴して、発表のよかった点、さらに直したほうがよい点を話し合い、まとめる。
10分	⑤これから自分たちが発表するうえで、大切なことや気をつけることをまとめる。	○授業冒頭でのこれまでの自分の発表と、番組でのコツや芦花小学校の5年生の発表を比較検討させ、自分の発表に足りないものが何かをまとめさせる。 ○発表に向けて進行中の場合は、誰に何のために行う発表なのか、相手意識や目的意識を確認しておくとよい。

コラム　表現・コミュニケーションの番組と関連させて

プレゼンテーションとともに、表現やコミュニケーションと関連して学習を深めたいときは、ティーチャーズ・ライブラリーの「情報」の各番組も視聴すると効果的です。「情報」では『伝える極意』の他の番組6本（2013年度版P.32〜P.35）や『スーパープレゼンテーション』関連番組（2013年度版P.38〜P.41）が活用できます。